

Holy Spirit

ホーリースピリット

知っておきたいキリスト教のことば (120)

聖霊 せいれい

聖霊とは、キリスト教が信じる三位一体の神(父・子・聖霊)の第3位格のことです。聖餐式の中のニケヤ信経では、聖霊のことを「命の与え主、父と子から出られ、父と子とともにあがめられ、預言者によって語られた主」だと唱えます。

旧約聖書には、「聖霊」と明確に書かれた箇所はありません。しかし天地創造の場面に出てくる「神の霊」など、聖霊を思い起こさせる記述は何箇所も見受けられます。

新約聖書では、マリアは聖霊によって身ごもることが告げられ(ルカ 1:35)、イエス様が洗礼を受けたときには聖霊が鳩のように目に見える姿で降り(ルカ 3:22)、荒れ野の誘惑の前にイエス様は聖霊で満たされます(ルカ 4:1)。

そしてイエス様が天に昇られた後、五旬祭のときに弟子たちは、約束の聖霊に満たされます(使 2:1~13)。聖書はその時の様子を「炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった」と書き、その結果弟子たちは、霊が語らせるままに他の国々の言葉で話し出したそうです。

聖公会では洗礼を、「聖霊の働きによって、わたしたちがキリストの死と復活にあずかり、新しく生まれるための聖奠(祈祷書 262 頁「教会問答 16」)だと説明します。さらに堅信(信徒按手式)の中で、「この僕(しもべ)に聖霊を満たし、知恵と理解、深慮と勇氣、神を知る恵みと、神を愛し敬う心を与えてください」と祈るのです(祈祷書 284 頁「洗礼堅信式」)。

ヨハネ福音書では聖霊を、「弁護者」や「真理の霊」と表現します。聖霊の働きによって、わたしたちと神さまとの間にあった溝は埋められます。そして聖霊の導きによって、わたしたちの歩みは神さまのみ心に沿ったものとされるのです。

次回は「説教」です。お楽しみに。



「聖霊降臨」

エル・グレコ

(1541 - 1614 年)

すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しだした。

(使徒言行録 2 章 4 節)

